様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

境川周辺地区

平成２１年3月

岐阜県岐阜市

様式2－1　評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	境川周辺地区		面積	234ha
交付期間	平成16年度　～　平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	391百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名		
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】厚見45号線（清六橋）、神清寺橋(境川中部29号線）、野田橋(下川手69号線)、【地域生活基盤施設】境川地域防災避難場所		
	提案事業	【まちづくり活動推進事業】水辺を活かしたまちづくり事業		
		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】南中島橋(下川手55号線)	1級河川境川の総合治水対策特定河川事業の年次計画が変更	なし
	提案事業	なし	-	－
新たに追加した事業	基幹事業	【道路】東辰新橋(茜部141号線)	1級河川境川の総合治水対策特定河川事業の年次計画が変更	なし
	提案事業	【事業活用調査】事業分析調査	事後評価のための計測調査の一環として追加	なし
交付期間の変更	当　初	平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	-
	変　更	変更なし		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	河川の治水安全度	㎥/s	43	H16	110	H20	－	110	○	あり		県の河川事業にあわせ、河川改修の計画断面を確保したことにより、治水安全度向上に大きく貢献した。 神清寺橋が平成19年3月に完成済み、東辰新橋(下部工)が平成21年3月に完成することによって、目標値110㎥/sを達成する。	H21年4月
										なし			
指標2	橋梁の通過交通量	台/日	3,550	H14	3,720	H20	-	3,658	△	あり	●	神清寺橋事業完了により車両交通量は増加し、目標にほぼ近い数値となった。取付道路改良工事が平成21年3月完成により、目標値3720台を達成する見込み。また、再度交通量調査を行い評価する。	H21年9月
										なし			
指標3	避難地までの到達時間	分	20	H16	11	H20	11	11	○	あり		大規模地震発生時に避難場所である茜部小学校へ、神清寺橋を経路とした避難が可能となり、到達時間を大幅に短縮できた。 また、避難場所案内板設置により、避難がし易くなった。	－
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	住民の満足度	%	17	H16				86	○		神清橋付近の河川及び道路拡幅事業による、洪水に対する防災性・安全性の向上や避難経路の確保について住民の満足度は、事業実施後で86%と過半（50%）を大きく越えている。	－
その他の数値指標2												

4）定性的な効果発現状況

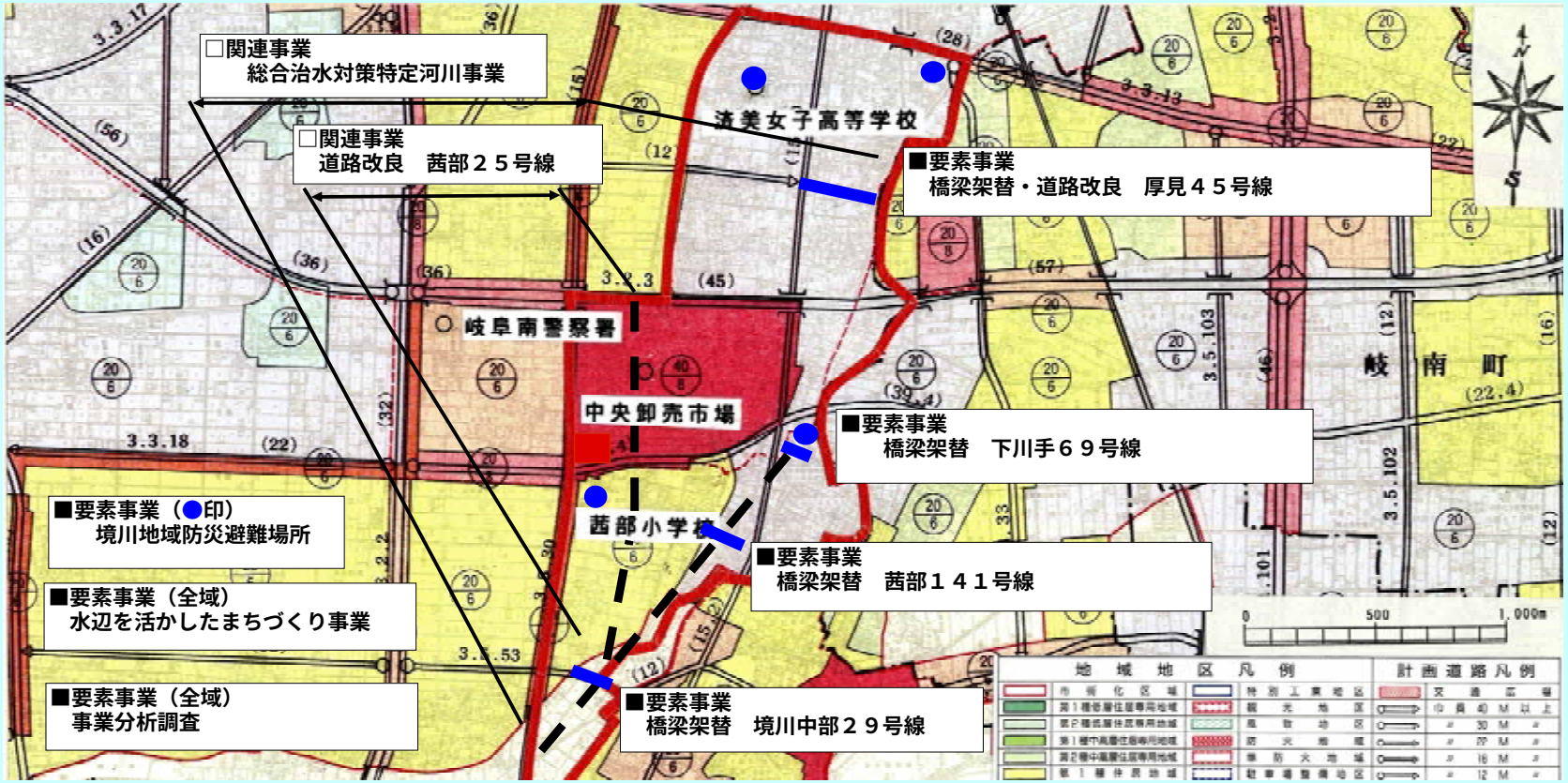
・避難経路の確保、避難場所案内板設置をしたことから、まちの防災力を高めることができた。
・行政境にある橋梁を拡幅、歩道設置をしたことで、道路利用の効率を高めることができた。
・境川における洪水対策の観点からボトルネックとなっていた部分を拡幅し、流下能力を向上させたことから周辺住民がより安心・安全な生活を送ることができるようになった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	・H19年度にモニタリングを実施した。（事業進捗、指標の計測手法、達成見込み等、指標と事業の関係性（貢献度）の確認、及び指標達成に向けての今後の対応策の検討）	都市再生整備計画に記載し、実施できた		次期整備計画でも、モニタリングを実施する。ただし、橋梁完成後で初めて計測できる指標についてのモニタリング計測は不可能であり、実施内容から除外する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	・岐阜県主体の境川圏域川づくりワークショップに岐阜市職員も継続参加し情報収集を行い、岐阜市水辺を活かしたまちづくり構想に反映した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	次期整備計画でも、本市が実施する事業が、境川圏域川づくりワークショップや地域関係者の意向とかけ離れないように配慮する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	・神清寺橋開通式を地元自治会と協力し開催した。 ・神清寺橋に対する住民の満足度調査を実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		地域住民への理解や協力が得られるよう今後も行なっていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		なし
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

境川周辺地区（岐阜県岐阜市）　まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■県が実施する境川総合治水対策特定河川事業と併せ、洪水のネックとなっている老朽化した橋梁を架け替えることにより、洪水に対する防災性・安全性を向上させ、安心・快適に暮らせる生活環境を創出する。 ■行政境にある橋梁を整備することにより、周辺市町との交流を促進し、街の活性化を図る。 ■災害時の避難場所への主要な経路となる老朽化した橋梁を整備することにより、避難経路を確保するとともに、避難場所の整備を実施し、安心安全な街をつくる。	河川の治水安全度	単位：(㎥／S)	43 H16		110 H20		110 H20	
	橋梁の通過交通量	単位：(台／日)	3,550 H14		3,720 H20		3,658 H20	
	避難地までの到達時間	単位：(分)	20 H16		11 H20		11 H20	



まちの課題の変化	計画期間内予定の橋梁整備が完了し、治水安全度が目標どおりに向上した。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	河川の治水安全度の向上のため、今後も、整備未完了の橋梁について、河川整備と一体的・効率的に橋梁事業を実施する。

補足資料

1．　実施した事業

2-1. 数値指標による目標の達成度

-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果

3．　事業実施の過程における住民参加について

4．　今後のまちづくりの方策について

5．　事後評価委員会で頂いた意見について

6．　フォローアップについて

1．実施した事業（基幹事業と提案事業）

まちづくり交付金を活用し、以下の基幹事業（道路・公園・情報板設置などの事業）と提案事業（市町村の提案に基づく事業）を実施しました。

			事業費（百万円）	事業担当課
基幹事業	道路	厚見45号線（清六橋）	156	道路建設課
		東辰新橋(茜部141号線)	43	道路建設課
		野田橋(下川手69号線)	11	道路建設課
		神清寺橋(境川中部29号線)	173	道路建設課
	地域生活基盤施設	境川地域防災避難場所	3	道路建設課
		計	386	
提案事業	まちづくり活動	水辺を活かしたまちづくり事業・境川周辺地区	3	道路建設課
	推進事業	事業分析調査	2	道路建設課
		計	5	道路建設課
		合計	391	

主な事業（基幹事業）

新清寺橋

神清寺橋の整備により、河川断面が拡幅され、洪水に対する安全性が向上、また、緊急時の避難経路が確保され、
まちの防災力の向上を図ることができました。

事業前

事業後

道路改良工事(厚見45号線)

道路改良の実施により道路が拡幅され、
道路利用の効率を高めることができました。

事業前

事業後

地域生活基盤施設：境川地域防災生活基盤施設

災害緊急時に周辺の住民の方々が、
円滑に避難場所へと移動できるよう案内板の設置をしました。

2－1．数値指標による目標の達成度

事業を行うことで以下の効果がありました。

指標1　河川の治水安全度

野田橋下流の治水安全度（流下能力）の評価

測点	計画高水流量（m3/S）		計画流量に対する達成率（%）等 流HML評価暫定
	将来	暫定	
9.40k	205.00	110.00	55.1
9.60k			46.7
9.80k			46.7
10.00k			39.6
10.20k			44.9
10.40k			39.2

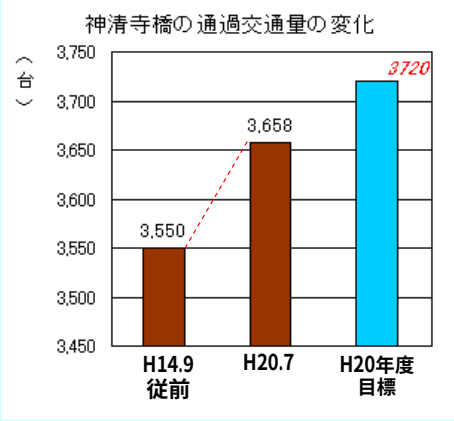
従前値　＝　110m3/s　×　39.6%　＝　43m3/s

事業実施後、河川の流下能力が大幅に上昇。

達成度○

指標2　橋梁の通過交通量

神清寺橋の通過交通量（車両台数）調査



事業実施後、橋梁の通過交通量が増加。

達成度△

指標3　避難地までの到達時間

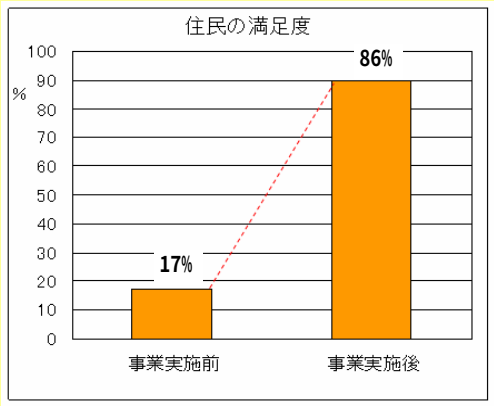
神清寺橋の左岸地点から境川橋経由で茜部小学校（避難場所）までの到達時間の調査

事業実施後、避難地までの到達時間が大幅に短縮。

達成度○

その他指標1　住民の満足度

橋梁架替に伴う河川拡幅、道路拡幅の各々について、事業実施前の満足度、事業実施後の満足度を調査



事業実施後、住民の満足度が大幅に上昇。

達成度○

2-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果

数値指標の結果（定量的な効果）以外に、以下に挙げた「定性的な効果」がありました。

・本計画の実施により、避難経路の確保、案内板設置を行い、まちの防災力を高めることができました。
・行政境にある橋梁を拡幅、歩道設置をしたことで、交通量は増加し、道路の利用効率を高めることができました。
・本計画の実施により、境川における洪水対策の観点からボトルネックとなっていた部分を拡幅し、流下能力を向上させたことから周辺住民がより安心・安全な生活を送ることができるようになりました。

3．事業実施の過程における住民参加について（住民参加の活動回数）

まちづくり交付金事業の実施過程において、住民参加活動が**3件実施**されました。

主な住民参加活動

境川圏域川づくりワークショップ(岐阜県)・・・1件
市職員もワークショップへ継続的に参加し、**境川に関するまちづくりのあり方等について情報収集**を行った。

神清寺橋開通式・・・1件
地域住民約150名が参加し、地域の防災性、利便性向上について認識が高まった。
事業への理解や地域活動の活性化のため、**完成した橋梁の開通式を地域住民と協力して実施**し、**事業の主旨等を記述したパンフレットを配布**した。

満足度調査・・・1件
回答数：211（配布数：263　回収率：80%）
完成した橋梁の周辺住民に対し、事業への満足度の意識調査を実施した。
事業実施後の周辺住民の満足度は大幅に上がっており、あわせて**まちづくり交付金事業への理解が高められた**。

4．今後のまちづくりの方策について

都市再生整備計画に掲げた目標の達成状況から、今後のまちづくりの方策について検討しました。

都市再生整備計画の課題	達成状況		継続・改善の基本方針	想定される事業
総合治水事業として位置づけられる境川において、流水阻害の最たる要因である橋梁部の治水安全度の向上	達成されたこと	計画期間内予定の神清寺橋、清六橋、東辰新橋の下部工(橋脚、橋台)が完了し、治水安全度を目標通りに達成した。	・河川整備と一体的・効率的に橋梁事業を実施する	清六橋、野田橋、東辰新橋の橋梁架替事業
	残された未解決の課題	引き続き、清六橋（上部）、野田橋（上下部）、東辰新橋（上部）の事業継続が必要である。		
地域交流の阻害要因である橋梁の、①老朽化、②狭隘な幅員、③不適切な道路線形及び④重量制限などの解消による円滑な交通網の確保	達成されたこと	計画期間内予定の神清寺橋架替事業が完了し、円滑な交通網を確保した。	特になし	特になし
	残された未解決の課題	特になし		
災害時における円滑な避難のため、経路上に存する幅員狭小、かつ老朽化した橋梁への対応、及び安全性向上のための避難空間施設の整備	達成されたこと	計画期間内予定の神清寺橋架替事業が完了、また避難場所案内板整備が完了し、安全性を向上した。	特になし	特になし
	残された未解決の課題	特になし		

5．事後評価委員会で頂いた意見について

平成20年11月12日に行われた「まちづくり交付金事業　事後評価委員会」において、委員の方々から以下の意見等を頂きました。

【成果の評価】
・指標2「橋梁の通過交通量」ではなく、地元に住んでいる立場だと、安全に渡れるというような効果を示す指標のほうがわかり易いのではないか。
・その他数値指標1「住民の満足度」のアンケート調査は、何について満足か明示すべき。

【実施過程の評価】
・指標1「治水安全度」の効果発現は、専門家でないと判断できない。事業を担当している市が専門家だから異論を加える性格のものではないと思う。
・指標2「橋梁の通過交通量」は、橋の西側200m先の県道まで都市計画道路をつなげないと交通量が増えないのではないか。
・指標1・2と関係する事業が少ないというのは、指標が適当ではなかったということを表していると思う。
・総合的な指標で「満足度」が用意されると、一つで全てが評価できると思う。

【効果発現要因の整理】
・計画についてスローガン的なものがみえてくるとよい。

【今後のまちづくり方策の作成】
・橋単体の交通量ではなく、地区全体として交通量がよくなった、交通渋滞や交通事故の減少などの指標も考えなくてはいけないのではないか。

6．フォローアップについて

この事後評価にて「見込み」とした指標は、翌年度以降に数値を計測して確定値とするようフォローアップします。

指標		評価値	目標達成度	判定	フォローアップ予定時期
指標1	河川の治水安全度（㎥/s）	110	○	見込み	平成21年4月
指標2	橋梁の通過交通量（台/日）	3,658	△	見込み	平成21年9月
指標3	避難地までの到達時間（分）	11	○	確定	なし
その他指標1	住民の満足度（%）	86	○	確定	なし